

01 がんの医療連携体制

1 推進状況及び評価

指標名（単位）		地域推進方針における指標				実績数値						令和4年度の達成状況
		現状値	目標値（R5）	目標数値の考え方	現状値の典拠（年次）	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
市町村実施の がん検診受診者 の割合（％）※1	胃がん 肺がん 大腸がん 子宮頸がん 乳がん	11.6 12.8 16.6 17.4 20.8	50	現状より増加	平成27年度地域保健・ 健康増進事業報告（厚生 労働省）	10.8 6.5 8.0 11.2 15.2	9.3 6.2 7.5 11.0 15.2	9.0 5.9 7.7 11.2 15.2	8.5 5.7 7.1 11.3 15.2	7.4 4.6 5.9 10.7 14.1		目標値に未達成
特定健診における喫煙率 （市町村国保）（％）		17.1	12.0以下	現状より減少	平成28年度保健所調べ （特定健康診査市町国 保分）	16.3	16.5	16.0	15.6	16.7		目標値に未達成
がんの標準化死亡比 （SMR）	男性 女性	103.8 102.4	100 100	現状より減少	北海道における主要死 因の概要9（平成18年 ～27年の10年間のデー タから算出）	－ －	－ －	106.3 104.1	－ －	－ －		目標値に未達成

※1 H30実績数値（平成28年度地域保健・健康増進事業報告）より受診率算定に係る対象者の基準に変更あり

2 主な取組の内容等

取組の内容	実 績	課 題	今後の方向性
①道、市町、学校、医師会及び歯科医師会等の関係団体や、事業所等と連携を図りながら、たばこが健康に及ぼす影響についての普及啓発、たばこをやめたい人への禁煙支援、未成年者の喫煙防止、公共施設をはじめ、職場や家庭等における受動喫煙防止対策の取組を進めます。	・北網圏域健康づくり事業行動計画及び各市町健康増進計画に基づき取組を実施 ・北海道のきれいな空気の施設登録事業（受動喫煙防止の取組） （7）R3新規登録数：58施設 年度末現在登録数：134施設 （4）R4新規登録数：117施設 年度末現在登録数：250施設	・喫煙はがん最大の危険因子であり、喫煙率の減少や受動喫煙のない環境づくりを進めていく必要がある。	・北網圏域健康づくり事業行動計画及び各市町健康増進計画に基づく喫煙対策を推進する。 ・北海道受動喫煙防止条例に規定する基本計画に基づき、受動喫煙防止に関する各取組を計画的に進める。
②主食・主菜・副菜を揃えたバランスの良い食事と減塩を習慣化できるような取り組みとあわせて、特に不足しがちな野菜や果物の適量摂取に向けた取り組みを推進します。	・北網圏域健康づくり事業行動計画及び各市町健康増進計画に基づき取組を実施	・発がんリスクの低減を図るため、健康のために望ましい生活習慣を身に着けることができるよう、北網圏域健康づくり事業行動計画及び各市町健康増進計画に基づく健康づくり対策を更に推進する必要がある。	・北網圏域健康づくり事業行動計画及び各市町健康増進計画に基づく健康づくり対策を更に推進する。
③身体活動が高めることの効果について、普及するとともに、身体活動量を少しでも増やすことや運動の習慣化につながる取組を進めます。			
④道や市町は、がん検診の受診率向上に向け、企業との連携やマスメディア等を活用した普及啓発を行います。	・北網圏域健康づくり事業行動計画及び各市町健康増進計画に基づき取組を実施 ・北網圏域地域保健・職域保健連携推進連絡会におけるがん検診受診率向上に向けた取組状況及び課題の共有 （7）開催日時 令和4年2月10日（木）書面開催 参加機関 23機関 （4）開催日時 令和5年2月9日（木）書面開催 参加機関 23機関 ・「がんと仕事」Zoomオンラインセミナー開催及びYoutube動画アーカイブ配信（主催：北見商工会議所、共催：アクサ生命保険株式会社・北見市・北見保健所） 開催日時 令和4年12月7日（水）14:00～15:00	・がん検診受診率の一層の向上を図るため、がん検診の必要性についての普及啓発や受診勧奨の徹底などの対策を推進する必要がある。	・北網圏域健康づくり事業行動計画及び各市町健康増進計画に基づくがん検診受診率向上対策を更に推進する。 ・地域保健と職域保健が連携して、一体的な受診勧奨に努める。
⑤未受診者に対する普及啓発や受診勧奨を行うなど、未受診者をなくすことに重点を置いたがん検診の推進を支援します。			
⑥がん診療連携拠点病院の診療機能の充実を図るとともに、各医療機関の医療機能の充実や地域連携を進め、がん患者の診断から回復までの診療情報や治療計画を医療機関や介護保険関連施設等が共有することにより、切れ目のない適切な医療が提供できるよう地域連携クリティカルパスを活用する等、関係する機関のがん医療提供体制の充実を図ります。	【北見赤十字病院】 ・在宅療養・在宅看取りを地域の在宅診療を行っている診療所、訪問看護ステーション、院外薬局、老人介護施設などと連携した取組	・医療連携体制の充実・強化が図られるよう、拠点病院を中心とした関係者間の連携を図る必要がある。	・引き続き、拠点病院、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、院外薬局、介護施設等が連携して医療提供体制の充実を図る。

取組の内容	実 績	課 題	今後の方向性
⑦国が指定する小児がん拠点病院等と地域の医療機関等は、小児・ＡＹＡ世代のがん患者が適切な治療や支援が受けられるよう、診療体制や機能等の情報を共有し、連携体制の構築に取り組みます。	【道】 ・小児がん医療提供体制について、ホームページ等により情報提供を行っている。 【北見赤十字病院】 ・小児がん連携病院として、小児がん拠点病院と連携している。 ・AYAサポートチームを立ち上げ患者支援体制を構築中。 【網走厚生病院】 ・小児がん拠点病院より定期的（2ヶ月毎）に出張医が専門外来を実施する他、必要時連携をとり対応している。	・小児及びAYA世代のがんは、成人のがんとは異なる対策が求められており、主に小児がん連携病院が中心となり小児がん拠点病院と連携体制の構築を進める必要がある。	・引き続き、小児がん連携病院が中心となり小児がん拠点病院との連携体制の構築を進める。
⑧在宅医療を求める患者・家族のニーズに対応できるよう、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、栄養士及び介護支援専門員等、関係職種間の連携推進を支援します。	※在宅医療の提供体制に掲載	・在宅医療の提供体制に掲載	・在宅医療の提供体制に掲載
⑨がん診療連携拠点病院は、その要件である認定看護師、専門看護師及び薬剤師等の専門資格の取得者を拡大・充実させるとともに、緩和ケア機能や設備の整備を図ります。	【北見赤十字病院】 (R4) がん看護専門看護師 2名 がん化学療法看護認定看護師 3名 がん性疼痛看護認定看護師 1名 乳がん看護認定看護師 1名 緩和ケア認定看護師 2名 皮膚・排泄ケア認定看護師 2名 がん薬物療法認定薬剤師 2名 緩和薬物療法認定薬剤師 0名	・緩和ケア医の確保が課題であるが、緩和ケア機能の拡大・充実に図り、診断された時から、患者とその家族に対して、身体的な苦痛及び精神心理的な苦痛等に対する全人的な緩和ケアを提供していく必要がある。	・引き続き専門資格の取得者を充実させるとともに、緩和ケア機能の整備を図る。
⑩道、市町及びがん診療連携拠点病院は、相談支援センターの存在や機能をはじめ、がん患者が活用できる各種サービスなどの情報提供を推進します。	【北見赤十字病院】 ・外来化学療法センター隣接にウィッグを見たり試着することができるアピアランスルームを設置している。 ・がん情報コーナーを設置し、各種パンフレットを自由に持ち帰ることができる体制整備 ・院内掲示、ホームページ掲載、市立図書館での案内コーナー設置など 【道】 ・がん・循環器病患者就労支援研修会の周知・開催（令和3年度） 日時 令和4年1月25日（月）13:00～16:00 開催方法 オンライン開催 主催 道、厚生労働省北海道労働局、独立行政法人労働者健康安全機構北海道産業保健総合支援センター、国立病院機構北海道がんセンター 【道・市町】 ・北海道がんサポートハンドブック（北海道がんセンター発行）を窓口に設置	・患者やその家族が必要とする正しい情報の提供が必要である。	・道、各市町、拠点病院等の関係機関が連携し、適切な役割分担のもと、適切な情報提供を推進する。
⑪がん診療連携拠点病院、市町及び関係団体等と連携しながら、がん患者や家族がともに支え合い、意見交換を行う機会づくりを推進します。	【北見赤十字病院】 ・月1回（毎月第3水曜日）に【がんサロンほほえみ】を開催 本館3階 特別会議室 14:00～16:00 参加費無料・事前申込不要。 【市町】 ・がん体験者（ピアサポーター）の活動支援	・がんサロンほほえみでは、患者や家族が、本音を語り合い、療養生活を送る上での工夫等の情報交換ができる貴重な機会となっている。他院で受療中の患者も利用可能であるため、診療に携わる医療機関等を通じて、積極的に周知していく必要がある。	・拠点病院、道、市町及び関係団体等が連携し、患者やその家族ががんサロンほほえみの周知を図る。
⑫医療機関は、北海道がん診療連携協議会及び北海道歯科医師会による「がん患者の口腔管理に関する医科歯科医療連携事業」を活用する等、がん治療実施前後の患者における口腔管理を歯科医療機関と連携して推進します。	【北見歯科医師会】 ・北網圏域において、「がん患者の口腔管理に関する医科歯科医療連携事業」の登録医療機関は27機関。登録していない医院においても積極的に周術期管理が行われている。 【北見赤十字病院】 ・院内掲示板にがん治療前に歯科受診を勧めるポスターを掲示 ・がん治療を始める患者に、かかりつけの歯科や口腔外科の受診希望を聞き、都度紹介	・拠点病院と歯科医療機関が連携して、治療に伴う専門的な口腔管理を行う取組を推進する必要がある。 ・治療を行う医療機関が適切な口腔管理を行えるよう、定期的な研修会等により情報の共有を図ることが必要である。	・引き続き、拠点病院と歯科医療機関が連携して、がん治療実施前後の患者における口腔管理を推進する。
⑬必要とするがん患者がゲノム医療を受けられるよう、がんゲノム情報の取り扱いやがんゲノム医療に関する道民の理解を促進し、普及啓発に努めます。	【道】 ・ゲノム医療の提供体制について、ホームページ等により情報提供を行っている。	・ゲノム情報を活用した医療の情報提供が図られるよう、普及啓発を行う必要がある。	・ゲノム医療の取り扱いや提供体制について、ホームページなどを活用し普及啓発に努める。
⑭がん登録について、がんの罹患や治療後の経過等に関する情報が予防・治療等に効果的に活用されるよう、道民への理解促進につとめます。	・がん登録等の推進に関する法律に基づき、全国がん登録実施 ・がん診療拠点病院による院内がん登録実施	・がん登録によって得られた情報等を利活用し、道民のがんに対する理解促進を図る必要がある。	・がん登録情報を積極的に活用し、予防・治療等に活用されるよう情報提供する。